

(様式第9号)

# 情報公開用文書

「身体拘束解除に向けたカンファレンスを実践することによる効果」へのご協力をお願い

## 1, 研究（調査）の目的と概略

この度の調査は「身体拘束に至った原因の改善に焦点を当てたカンファレンスを行うことの効果について、抗精神病薬の使用数の変化から検証を行う」ことを目的としております。これらの調査を行うことは、身体拘束解除に向けたカンファレンスを行うことがせん妄・BPSDの予防にもつながることを明らかにし、今後の多職種連携を促進する一助になると考えております。特に高齢者は加齢による変化から薬物による副作用が現われやすく効果の遷延も起こりやすいため、カンファレンスの実施が抗精神病薬の使用数の軽減につながる可能性を示すことは、高齢者のADL・QOLを維持するためのケアの向上にもつながると考えております。

## 2, 研究（調査）の方法

入院期間に身体拘束が施行された患者様に関して、身体拘束の解除に向けたカンファレンスを実施します。その後、病棟で使用された抗精神病薬の使用総数の変化について検証を行います。患者様の氏名や住所は収集いたしません。

## 3, 研究（調査）の参加施設

徳島県立中央病院

## 4, 調査期間

調査期間 令和2年4月1日から令和5年3月31日まで

## 5, 調査の対象となる患者様

本調査の対象となるのは、上記調査期間に入院された患者様について、に身体拘束が施行された方です。

## 6, この研究への協力は任意です

本研究は、患者様の診療記録から得られた情報のみを使用する「観察研究」と呼ばれるもので、患者様に新たな診療や検査を強いるものではありません。調査結果は、個人が特定できないように匿名化して管理し、個人情報を保護します。

データのご使用をお断りになる場合は、直ちに情報の利用を停止いたしますので、  
ご遠慮なくお申し出ください。何も診療に不利益は生じません。

7. お問い合わせ先

研究責任者 森 尚子

当院研究責任者 大森 隆史 (精神科部長)

お問い合わせ先 770-8539 徳島県徳島市蔵本町 1 丁目 10-3

9階南病棟 森 尚子